

# “命脈つきた制度は廃止できる”

## 裁判員制度廃止5.20全国集会in日比谷

5月20日夜、東京・日比谷野音で、裁判員制度はいらない!大運動主催の「5.20を裁判員制度廃止記念日に!」の集会・デモが820名で行われました。呼びかけ人の今井亮一さん（交通ジャーナリスト）、織田信夫さん（仙台弁護士会）をはじめ、各地で闘っている人たちが壇上にあがり、にぎやかに、次々と報告を行いました。

福岡からは裁判員候補通知が来たがそれを手に裁判所を追いつめた闘い、茨城からは呼び出し書類を手に拒否する街宣などがイキイキと報告されまし

た。呼びかけ人の高山俊吉弁護士は集会アピールで言いました。「3月25日に最高裁は、被災地でも3月28日から裁判員裁判を再開すると言った。

30万人が避難所で生活し、3万人がどこにいるのかわからない時だ。仙台高裁は裁判員裁判の予定はないと言った。これはレジスタンスだ。5月2日に最高裁は被災地でないところから裁判員を選んで行うと言った。ここは被災地、ここは被災地ではないと最高裁が区分するのか。3月25日のデタラメか



ら5月2日のデタラメに変わっただけだ」「最高裁のアンケートでは5年前に65%だった『裁判員にはなりたくない』が、今は84%になっている。裁判員制度は命脈がついた。やめさせる力が私たちにある」と。集会後、東電前で東電糾弾のシュプレヒコールをやり、注目の中、銀座デモを行いました。